

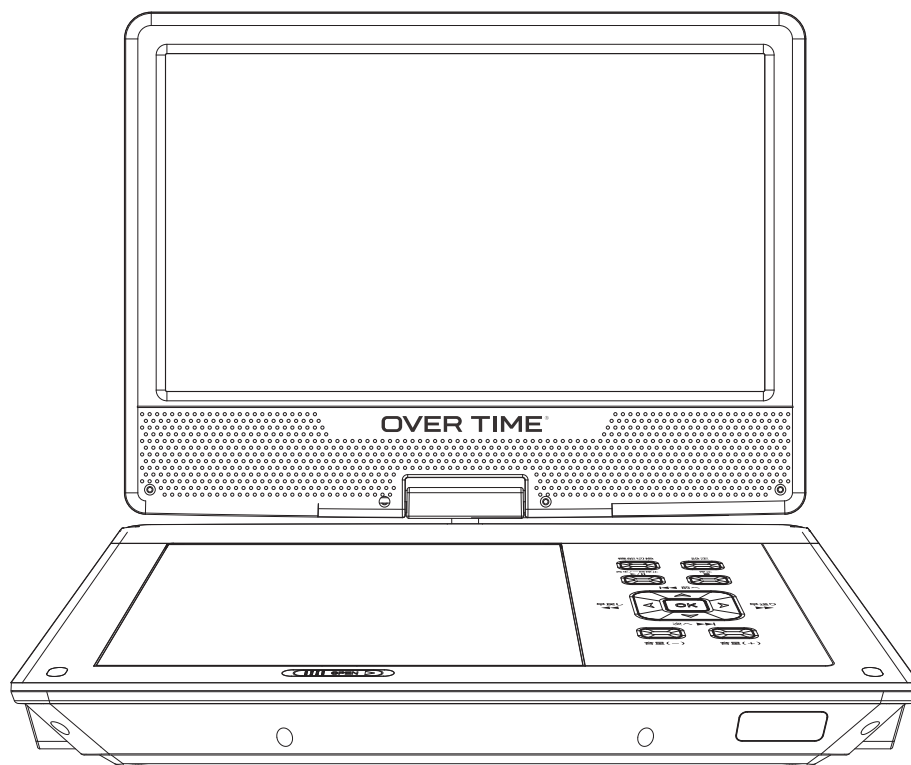
型番：OT-BD101AK

(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

10.1インチ液晶 ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。



※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに	
安全上の注意	3-6
ディスクの取扱いと用語	7-8
付属品リスト	9
各部名称（プレーヤー本体）	10
各部名称（リモコン）	11-12
リモコンについて	13
電源の接続	14
外部機器との接続（AV 接続）（BLUETOOTH 接続）	15-16
充電について	17
ディスクの再生	
DVD・DVD-R/RW	18-21
音楽 CD・CD-R/RW	22
外部メモリーの利用	
メディアの読み込み	23-24
音楽ファイルの再生	25
動画ファイルの再生	26
画像ファイルの再生	27
データの管理	28
音楽 CD から録音	29
メディア／データファイルについて	30
機能の設定／機器の調整	31-33
トラブルシューティング	34-35
製品仕様	36
その他（各種注釈や免責など）	37-38
アフターサービス／保証規定	39

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明







表示	表示の意味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

（*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

（*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

（*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき

 **警告**

発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。



電源プラグ
を抜く

内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



電源プラグ
を抜く

製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。














電源プラグ
を抜く













コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



電源プラグ
を抜く

設置されるとき	 警告	
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）		 指示
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。		 禁止
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。		 上載せ 禁止
ご使用されるとき	 警告	
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。		 分解禁止
ディスクトレイや端子部などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。		 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。		 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」 などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。		 禁止
お手入れについて	 警告	
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。		 指示

設置されるとき	 注意
<p>温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。</p>	 禁止
<p>湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。</p>	 禁止
<p>風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと</p>	 禁止
<p>設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。</p>	 指示
ご使用されるとき	 注意
<p>電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。</p>	 引っ張り 禁止
<p>濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。</p>	 接触禁止
<p>本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。</p>	 電源プラグ
<p>ディスクトレイから内部に手を入れないこと 指を挟みケガの原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	 禁止
<p>異常なディスク（変形、ひび割れ、キズ、接着剤等による補修）は使用しないこと 機器内部でディスクが高速回転します。機器の故障やケガの原因となる場合があります。</p>	 禁止
<p>主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。</p>	 指示
<p>リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）</p>	 指示

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「ディスクが外れる」などが起きて故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について





- 結露はディスクや機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露”はこんなときにおきます。

- ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
- ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
- ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
- ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
- ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき

- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、本機からディスクを取り出した状態で、「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

◎再生可能なディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVDビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） + 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEGの各形式でデータ保存されたCD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応していません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CRRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

（ヒント）ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

◎ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

◎ディスクの取り扱いかた

- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



◎ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

◎初めて本機をご使用されるときは ...



- はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。(素材：紙)



※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 <p>●本体</p>	 <p>●リモコン (試用電池付)</p>	 <p>●車載用バッグ</p>
 <p>●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)</p>	 <p>●AC アダプター</p>	 <p>●シガーソケット アダプター (12V 車専用)</p>
 <p>●イヤホン (Φ3.5mm)</p>	 <p>●取扱説明書 (本書)</p>	 <p>●製品保証書</p>

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

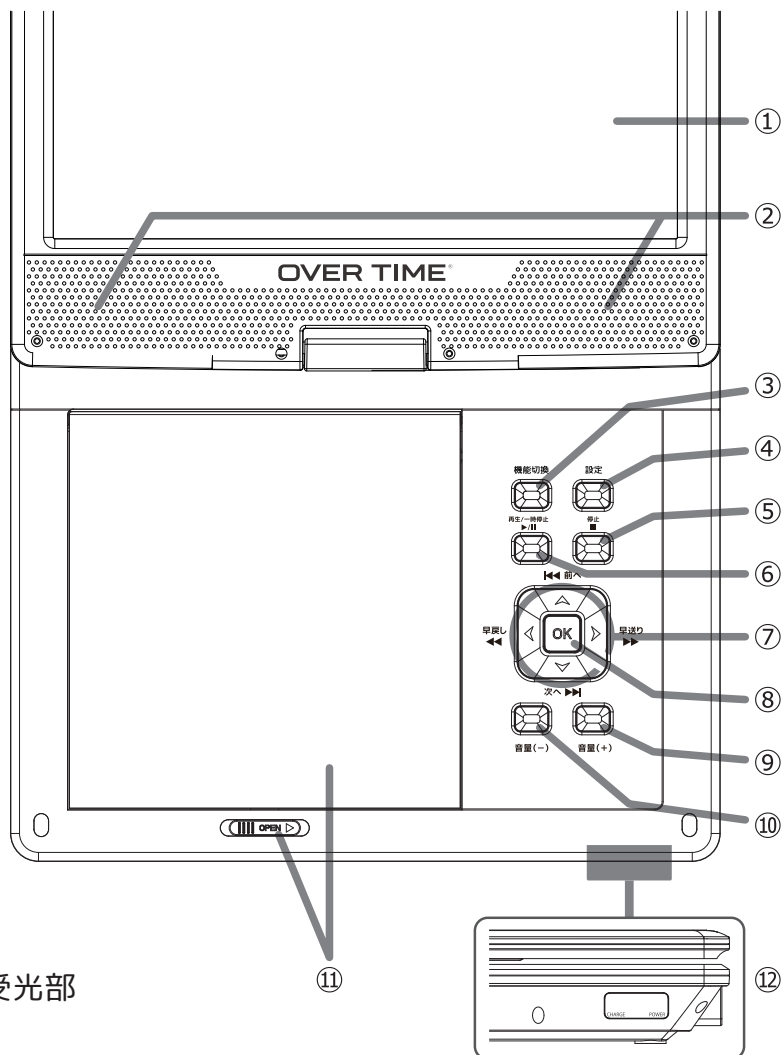
- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称 (プレーヤー本体)

(ボタンや端子など)

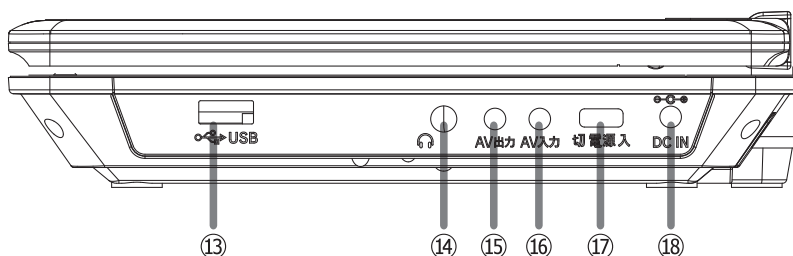
- ① 液晶モニター
- ② スピーカー
- ③ 機能切換
(DVD⇔AV入力)
- ④ 設定
- ⑤ 停止
- ⑥ 再生/一時停止
- ⑦ 十字キー
[←][→]:早戻し/早送り
[↑][↓]:前へ/次へ
- ⑧ OK(決定)
- ⑨ 音量(+)
- ⑩ 音量(-)
- ⑪ ディスクカバー/開スイッチ
- ⑫ 状態表示ランプ/リモコン受光部



- ⑬ USB2.0ポート

本体右側面

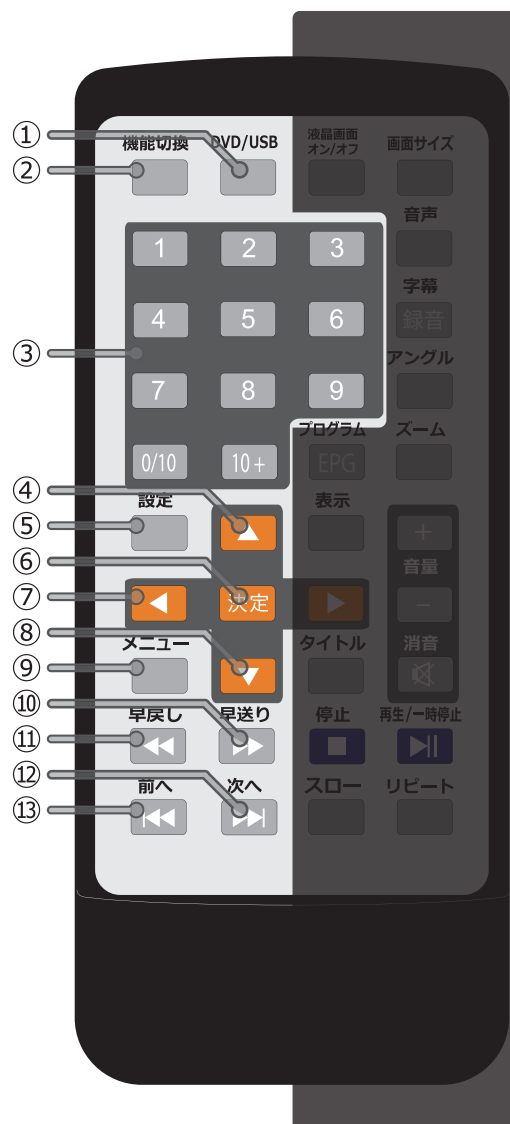
- ⑭ イヤホン出力
(ステレオ/Φ3.5mm)
- ⑮ AV出力
- ⑯ AV入力
- ⑰ 主電源スイッチ
- ⑱ 電源入力



各部名称 (リモコン)

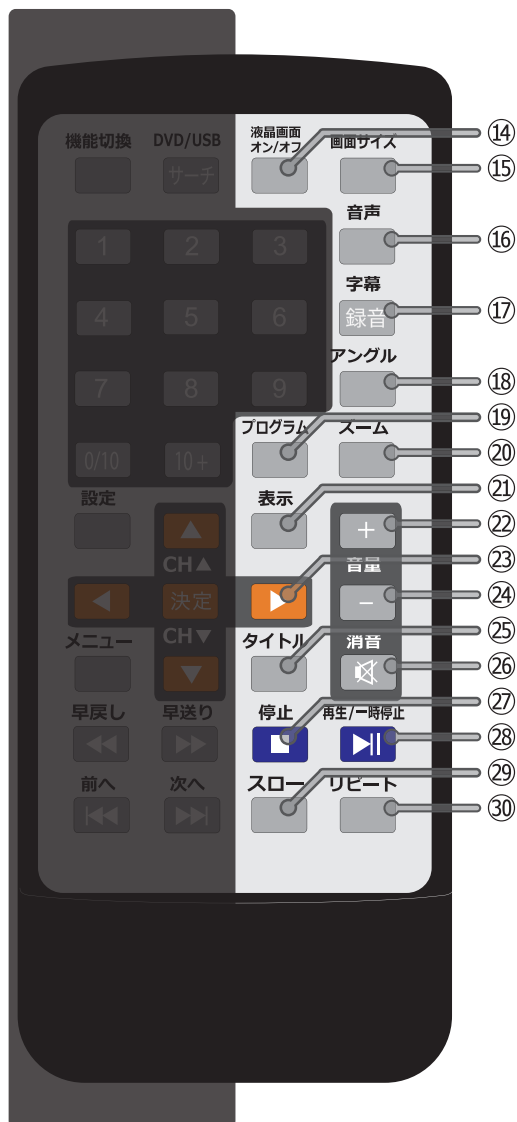
(名称や主な操作など)

- ① DVD/USBボタン〈参照 *P.23〉
外部メモリー (USB) モードに
切換えます
- ② 機能切換ボタン
DVD / AV のモードを切換えます
- ③ 数字ボタン
場面や曲の番号の直接入力を行います
- ④ ▲ボタン
上方向への移動や選択
- ⑤ 設定ボタン〈参照 *P.31〉
機能設定ページを表示します
- ⑥ 決定ボタン
各種設定や選択項目を実行 (決定)
- ⑦ ◀ボタン
左方向への移動や選択
- ⑧ ▼ボタン
下方向への移動や選択
- ⑨ メニューボタン
メニュー画面に戻ります
- ⑩ ▶▶ボタン : 再生データの早送り
- ⑪ ◀◀ボタン : 再生データの早戻し
- ⑫ ▶▶|ボタン : 次のチャプターへの移動など
- ⑬ |◀◀ボタン : 前のチャプターへ移動など



各部名称 (リモコン)

(名称や主な操作など)



- ⑭ 液晶画面オン/オフボタン
画面の点灯⇔消灯 (音声は消えません)
- ⑮ 画面サイズボタン
表示サイズの切換 (4:3⇔16:9)
- ⑯ 音声切換ボタン：音声の切換
- ⑰ 字幕・録音ボタン
字幕の切換
音楽CDから外部メモリーに録音
- ⑱ アングルボタン (対応ソフトのみ)
ディスク再生中の映像アングルの切換
- ⑲ プログラムボタン
プログラム再生の設定
- ⑳ ズームボタン
ズーム倍率の変更
- ㉑ 表示ボタン
ディスク情報を表示
- ㉒ 音量+ ボタン：音量を上げる
- ㉓ ▶ボタン
右方向への移動や選択
- ㉔ 音量- ボタン：音量を下げる
- ㉕ タイトルボタン
DVD ディスクのタイトルを表示
- ㉖ 消音ボタン
音声の消音⇔出音
- ㉗ 停止ボタン
再生中のデータを停止
- ㉘ 再生/一時停止ボタン：
データの再生⇔一時停止
- ㉙ スローボタン：スロー再生を行う
- ㉚ リピートボタン：リピート再生の設定

リモコンについて

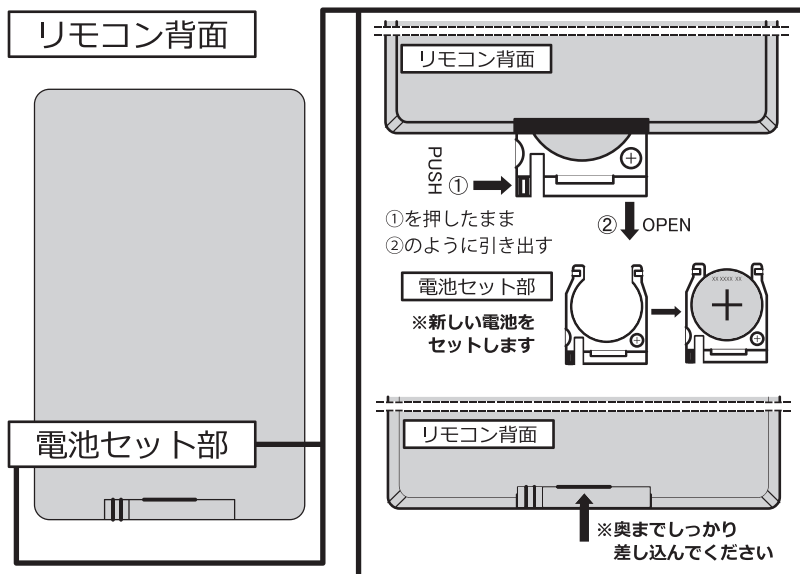
(電池交換 / 使用方法)

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」型ボタン電池です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に初期セットされた電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の交換方法

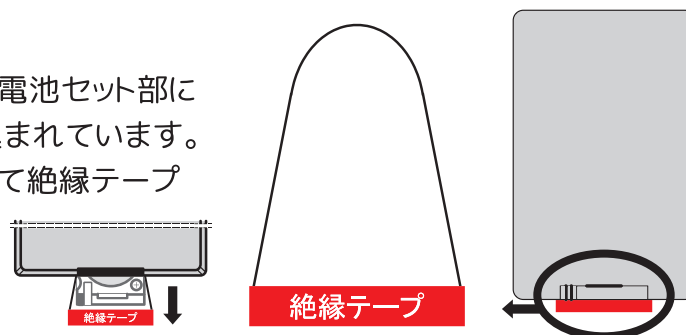
- ① 電池セット部のツメを右に押したまま、電池挿入トレー部分を引き出す。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池と交換。
※電池の向きに注意!
- ③ 電池挿入トレー部分をセット部に奥まで正確に挿し込む。



※電池交換作業を行う場合、電池セット部のツメ折れやキズなどには十分ご注意ください。

◎リモコンの使用方法

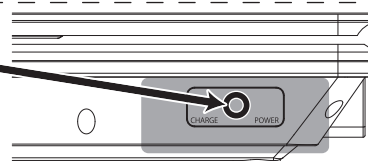
- 製品お買い上げ時にはリモコン電池セット部に図のような絶縁テープが差し込まれています。電池挿入トレー部分を引き出して絶縁テープを外してください。



- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。

IR リモコン受光部
(本体正面右下部)

* 充電中または主電源を入れた時に
LED ランプが点灯する部分です

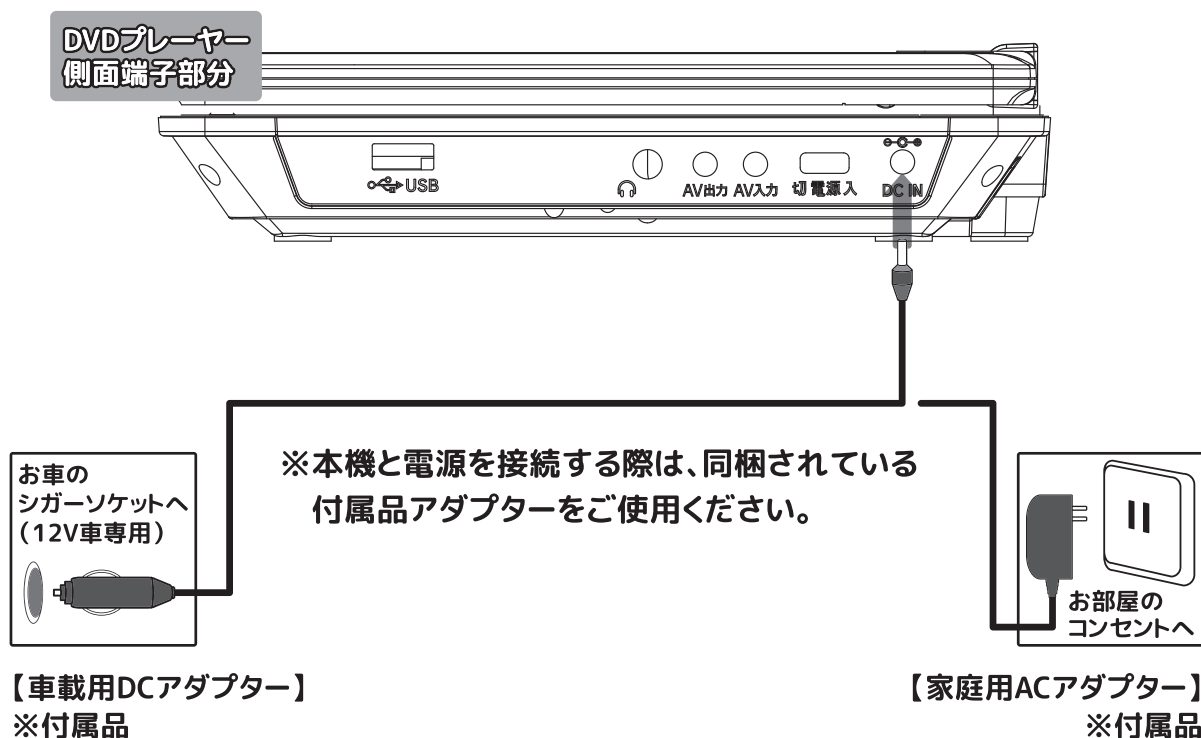


※本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

電源の接続

◎電源の接続

- ① 本体の主電源がオフ（切）であることを確認します。
- ② 本体側面端子部にある「電源入力端子」と「電源アダプター（AC 又は DC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。
- ③ 各接続部分をご確認の上、本体側面端子部にある「主電源スイッチ」をオン（入）にします。

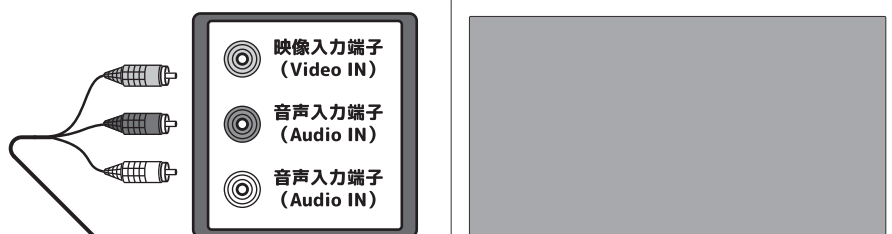


⚠️ ご注意ください

- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ（切）の状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のもをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)

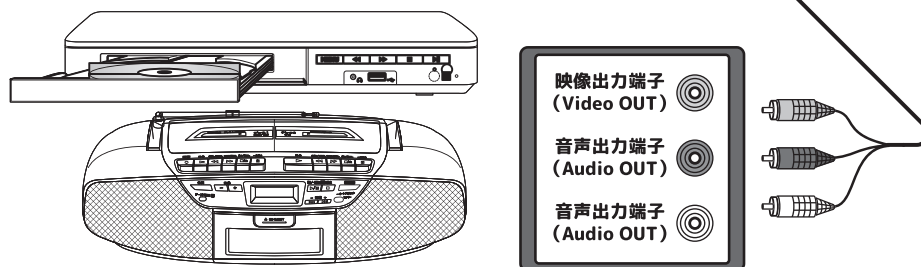
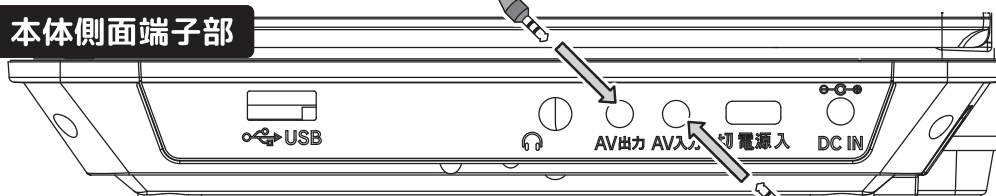
●外部モニター（大画面テレビなど）に出力する

本機で再生する映像等を外部モニター（テレビなど）で視聴することができます。
 下図ご参照の上、付属の専用AVケーブルを使用してモニターと正しく接続してください。



- ①モニター側【AV入力端子(RCA端子※赤白黄)】に付属ケーブルの赤/白/黄の各端子を接続
- ②本機側【AV出力端子(ピン端子)】に付属ケーブルのピンジャックを接続

本体側面端子部



●外部機器からの映像などを入力する（本機をモニター等として使用する）

他の外部機器（ビデオデッキなど）再生する映像等を本機で視聴することができます。
 上図ご参照の上、付属の専用AVケーブルを使用して外部機器と正しく接続してください。

- ①外部機器側【AV出力端子(RCA端子※赤白黄)】に付属ケーブルの赤/白/黄の各端子を接続
- ②本機側【AV入力端子(ピン端子)】に付属ケーブルのピンジャックを接続

⚠️ ご注意ください

※本機と外部機器を接続する場合、必ず「本機専用 AV ケーブル（付属品）」をご使用ください。
 各端子部分の形状が同じケーブル類が多数市販されておりますが、付属品以外のものを使って
 本機と外部機器を接続しても仕様の違いによって「映像が出ない」「音声が聞こえない」などの
 事象が起こる場合があります。

※AV ケーブルを含む全ての付属品類およびパーツ類（本体以外）は全て無償保証の対象外です。

◎BLUETOOTH (ブルートゥース) 送信機能

本機には外部機器 (BT 対応スピーカーやヘッドホン等) と無線接続 (ペアリング) を行い、本機で再生する音源 (音楽 CD など) をお楽しみいただけます。

◎接続を行う (ペアリング)

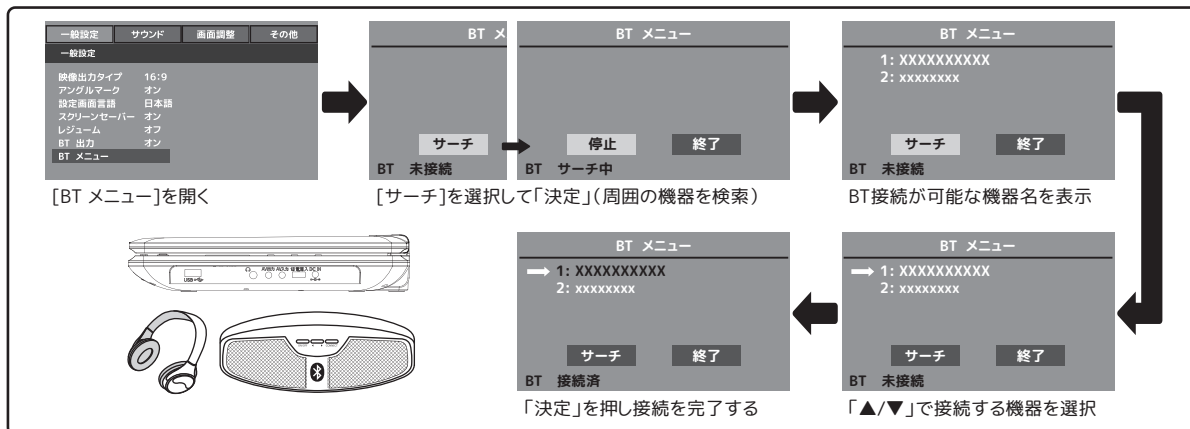
- ① 本機側「主電源スイッチ」をオンにします。
- ② 接続する外部機器側の電源を入れペアリング設定ができる状態にします。

(※) 外部機器側の設定方法はその機器の取扱説明書等をご確認ください
 (※) 本機周辺に複数の BT 対応機器がある場合、接続する機器以外のものは BT 機能をオフにしてください (混線等により正しく接続できない場合があります)

- ③ 「設定」(又は本体側「本体設定」) を押し [機能設定メニュー] を表示します。
- ④ [一般設定] → [BT メニュー] にカーソルを移動して「決定」を押します。
- ⑤ 黄色タグを[サーチ]に合わせて決定を押します。
 本機の周辺にあるBT接続が可能な機器を検索します。
 機器を検知すると機器名がリスト表示されます。

(※) サーチ完了まで若干時間がかかります。(約 10 ~ 30 秒程度)

- ⑥ 「▲/▼」で接続する機器名に[➡マーク]を移動させて「決定」を押します。
 ※接続が成功すると機器名の表示色が(白)から(青)に切り換わります。



- ### ◎BT 接続を解除する
- ① [機能設定メニュー] → [BT 出力] → [オフ]
 - ② [BT メニュー] → 機器名に[➡マーク]を移動させて「決定」
- ※接続が解除されると機器名の表示色が(青)から(白)に切り換わります。

⚠️ ご注意ください

- ※本機側 BT 機能は送信専用です。他の機器からのデータ受信はできません。
- ※ペアリング接続範囲は約 10 m です。但し機器間に障害物がある場合や他の電子機器が周囲にある場合、範囲は可変します。
- ※Bluetooth 接続機能は無線による接続機能です。
 航空機内で使用の場合は各航空会社の指示に従ってください。



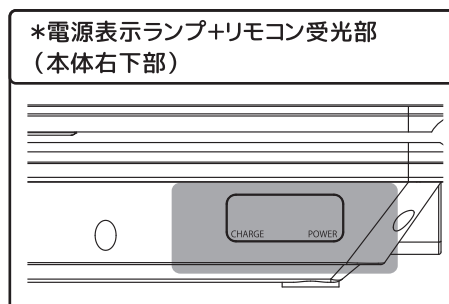
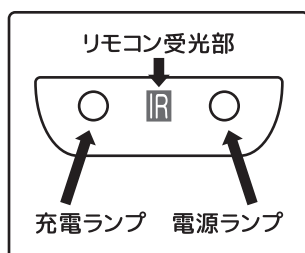
充電について

◎充電電池について

本機にはリチウムイオンポリマー電池（Li-po）が内蔵されております。
内蔵電池に充電済みであれば電源がない場所でもご使用が可能です。

◎充電方法

- 本書 P.14（電源の接続）を参照して、本機と電源を正しく接続します。
本機に正しく通電されると電源表示ランプが点灯し充電が開始されます。
（電源表示ランプの状態は下記参照）



■ 電源表示ランプの状態

- * 充電ランプ：充電中に赤色に点灯します（充電が終わると点灯色が変わります）
- * 電源ランプ：主電源オン（入）で点灯します

◎充電時間／駆動時間

充電電池の電気が完全放電された状態から本体主電源オフ（切）状態で充電を開始した場合、満充電までの時間はおよそ約 4 時間程度です。また満充電の充電電池のみで本機を駆動した場合、およそ約 2 時間程度のご使用が可能です。

* 上記記載の時間はおよその目安です。使用環境や頻度等により異なりますのでご了承ください。

⚠ ご確認ください

- ※お買い上げ初期時の充電電池は満充電状態ではありません。
 - ※充電電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたします。
 - ※ご家庭で充電する場合、必ず当機専用 AC アダプター（付属品）をご使用ください。
 - ※お車で充電される場合、「DC12V 車である」ことをご確認の上、当機専用車載用 DC シガーアダプター（付属品）をご使用ください。またお車のエンジンをかけた状態でご使用ください。
 - ※充電に要する時間や充電電池による駆動時間は使用環境や方法などにより変化します。また充電後の駆動時間は、お客様の環境や再生頻度・再生方法等に依存しますことをご了承ください。
 - ※充電電池は消耗品につき寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電電池の容量は少しずつ低下します。駆動時間が大幅に短くなった場合は、電池寿命とと思われますので、カスタマーセンターまでお問合せください。（電池寿命の目安：充放電回数 約 500 回前後）
- （注）充電電池は消耗品につき無償保証の対象外です。電池の交換は有償による対応となります。

- （重要） 電池寿命が近い状態でさらに充放電を繰り返すとリチウム電池の特性上、異常な発熱や膨張が起こる場合があります。このような場合は電源から本体を外して機器の使用を止めてください。
- （重要） お客様ご自身による本体の開封や電池交換は大変危険ですので絶対に行わないでください。
- （推奨） 満充電になったら「電源」「アダプター」「本機」を全て外すことを推奨いたします。

△ ご注意 (ご確認) ください

※当項目以降で記載する『ボタン』の名称(「XX」)は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載しております。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。
(本体ボタンの場合「操作できない場合」や「該当ボタンがない」場合があります)

◎ディスクの再生 / 主な操作の手順

1. 電源を入れる
機器と電源を接続し、本体側面の主電源スイッチをオン(入)にします。
2. 機器にディスクをセットする
本体のディスクカバー開スイッチをスライドさせてディスクカバーを開き、ディスクのラベル面を上に向けてセットします。
ディスクをセットしてからカバーを閉じます。
(注) お買い上げ時はトレイ内部に「レンズ保護カバー(紙製)」が付いています。
本書 P.8 を参照して保護カバーを外してください。
(注) ディスクの読み込み面は手で触らないでください。
(注) カバーの開閉は丁寧に扱いください。破損や故障の原因となる場合があります。
3. 再生の開始
ディスクカバーを閉じると自動で再生が始まります。
(ヒント) 市販の映画ソフトなどの場合、はじめにソフトのタイトルなどが画面に表示されます。
この場合、リモコンや本体のボタン操作でデータの選択や再生を行ってください。
4. 一時停止
ディスク再生中にリモコン(または本体)の「再生/一時停止(▶||)」ボタンを押すと、再生を一時停止します。再度ボタンを押すと再生が再開されます。
5. 停止
再生中に「停止(■)」ボタンを押すと仮停止して、画面上に『再生キーを押し、継続』と表示されます。
仮停止の状態では、「再生/一時停止(▶||)」ボタンを押すと停止した場面から再生が再開されます。仮停止の状態では「停止(■)」ボタンを押すと完全停止となります。
6. 音量の調節
再生中に「音量+」ボタンを押すと音量が大きくなり、「音量-」ボタンを押すと音量が小さくなります。

7. 消音

再生中に「消音」ボタンを押すと音声のみを消すことができます。

消音状態で「消音」ボタンを押すと消音前の音量で出音します。

8. 場面のスキップ

再生中に「次へ (▶▶|)」「前へ (|◀◀)」ボタンを押すと、一つ次 (又は前) のチャプターにスキップ移動します。

(注) チャプター編集がされていないディスクでは機能しません。

9. 早送り・早戻し

再生中に「早送り (▶▶)」「早戻し (◀◀)」ボタンを押すと、早送り (又は早戻し) 再生を行うことができます。再生速度はボタンを押すごとに切り換わります。



10. 場面を選択して再生

「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。DVDソフトの内容から再生したいチャプターや字幕などを選択することができます。

(注) ディスクによってはメニュー画面がない場合があります。

11. アングルの切換

再生中に「アングル」ボタンを押すと映像のアングルを切り換えることができます。ボタンを押す回数によってディスクに記録編集された異なるアングルの映像に切り換わります。切換え可能なアングルの数と再生しているアングルの番号が画面に表示されます。

(注) アングル切換はマルチアングルで記録編集されたDVDでのみ使用可能な機能です。市販のDVDソフトの場合、ジャケットやケースカバーなどで仕様をご確認ください。

12. 音声切換

再生中に「音声」ボタンを押すと、音声 (言語など) を切り換えることができます。音声ボタンを押すたびに記録されている音声切り換わります。切換え可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

13. 字幕切換

再生中に「字幕」ボタンを押すと、字幕を切り換えることができます。ボタンを押すたびに字幕言語が切り換わります。切換え可能な字幕の数と再生中の字幕の番号が画面に表示されます。

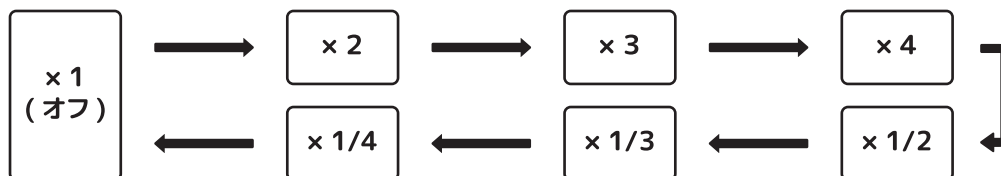
(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

(注) 字幕データが収録されていないディスクではこの機能は使えません。

14. ズーム切換え

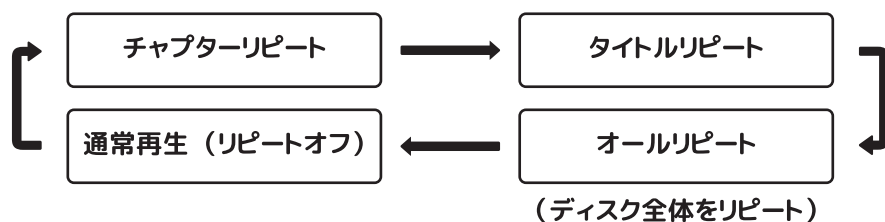
再生中に「ズーム」ボタンを押すと、映像の表示倍率を変更することができます。ボタンを押すたびに下記の順に表示倍率が変わります。

拡大表示中に「上下左右 (▲▼◀▶)」ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外の部分を見ることができます。



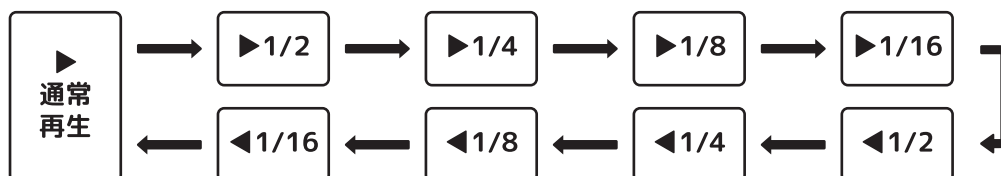
15. リpeat再生

再生中に「リpeat」ボタンを押すと、リpeat再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順にリpeat設定が切り換わります。



16. スロー再生

再生中に「スロー」ボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順に再生スピードが切り換わります。



◎ テレビ番組を録画したディスクの再生

- 本機ではテレビ番組を録画した DVD ディスク（以下【番組録画ディスク】記載）の再生が可能です。（CPRM 対応）但し、本機で読み込み可能な【番組録画ディスク】は以下条件で作成されたディスク（DVD-R/RW）のみとなります。本機で【番組録画ディスク】を再生する場合、録画する機器側の設定やデータの保存方法やディスクの作成方法などにご注意ください。

- 録画に使用するディスクが DVD（DVD-R や DVD-RW）であること
ブルーレイディスクやウルトラブルーレイディスク（BD/BD-R/UHDBD など）の読み込みできません。
- 録画に使用したディスクが CPRM 対応であること
パソコンなどを使用して CPRM（コピー制御）非対応のディスクに TV 番組などのデータを保存・作成されたディスクの場合、読み込みできない場合があります。
- 録画した機器側で「ディスクのファイナライズ」の処理が行われていること
ファイナライズは録画した機器以外の機器（本機など）でもデータの読み込みができるように、データの終点ポイントを付加した上で以降の「書換え／上書き不可」状態にする処理です。

この処理は録画した機器（レコーダー等）側でのみ実行できます。またこの処理が未処理の場合、録画した機器以外ではディスク再生はできません。

- データが等倍速で録画されていること
録画する機器側の設定が「倍速」「3倍速」など、データが圧縮して保存されている場合、読み込みできない・正しく表示されないなどの場合があります。
- 録画（ダビング）方式が VR モードで行われていること
録画機器のメーカーや仕様により「AVCRECモード」や「HDVRモード」など VR モード以外の録画方式があります。本機では VR モード以外の方式で録画作成されたディスクの読み込みはできません。

（参考資料）

主な録画機器 製造メーカー	録画機器の名称など	ダビング方式	本機での 再生可否
Panasonic	ブルーレイ DIGA	VR	○
	ハイビジョン DIGA	AVCREC	×
Mitsubishi	REAL ブルーレイ	VR	○
	REAL DVD レコーダー	AVCREC	×
Hitachi	Wooo ブルーレイディスクレコーダー	VR	○
		AVCREC	×
Toshiba	VARDIA ハイビジョンレコーダー	VR HDVR	○ ×
Sony	ブルーレイディスクレコーダー	VR	○
Sharp	AQUOS ブルーレイレコーダー AQUOS ハイビジョンレコーダー		

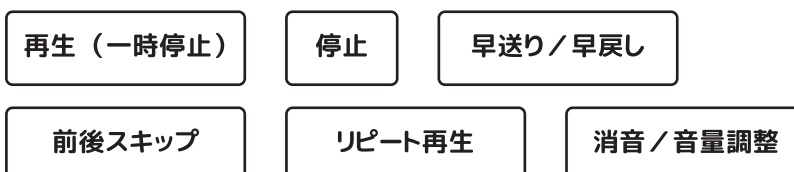
※上記資料は参考例として多々ある名称の中からピックアップされたものです。
上記以外にもメーカー名・機器名称・ダビング方式名称など複数ございます。

- ※ 上記条件に合った場合でもデータの書込方法・保存方法・データの破損・ディスクの互換性や相性の問題などの理由で読み込みできない場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 「ディスク」「CPRM」「ファイナライズ」についての詳細は本書 P.7 をご参照ください。

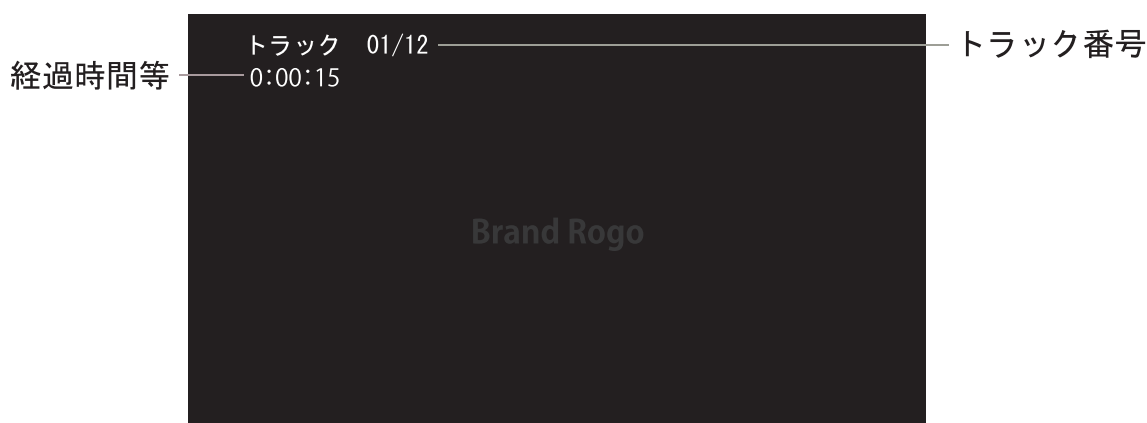
◎ディスクの再生 / 主な操作の手順

● 音楽 CD の再生

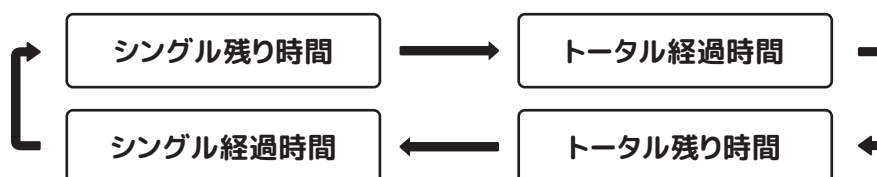
DVD ディスクと同様に CD ディスクをセットしてディスクトレイカバーを閉じると、音楽データの再生が自動的に始まります。音楽 CD ディスクの再生時では、DVD ディスク再生に使用するボタンで以下の操作を行うことができます。



● CD 再生時の画面表示

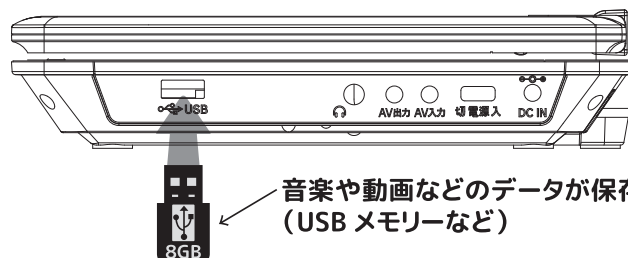


音楽 CD の再生中は、トラック（収録曲）の再生時間などの情報が画面に表示されます。「表示」ボタンを押すたびに下記の順に画面の表示が切り換わります。



◎外部メモリ（USB フラッシュメモリーなど）を取り付ける

- ご視聴されるデータが保存された外部メモリ（USB メモリーなど）を本機右側面の各端子部分に取り付けます。



音楽や動画などのデータが保存された外部メモリ（USB メモリーなど）

（注）外部メモリーの挿入方向にご注意ください。
USB 端子：端子内側の凹凸を確認してください

● データの読み込み手順

本機にディスクが入っていない状態で外部メモリを取り付けると、接続を自動で認識します。DVD ディスクが入っている場合「DVD/USB」ボタンを押してください。

<手順>

- 主電源をオフ（切）にする → 外部メモリを取り付ける（上図）
- ➔ 主電源をオン（入）にする → 本機のシステムが自動で起動します
- ➔ システム起動後に画面表示が切り換わり、以下順でメディアの自動検索が行われます。

「ロード（読込中）」→「ディスクなし※」→「検索中」

（※）ディスクが入っている場合は「読込中」からディスクの再生が始まります。
この場合「DVD/USB」ボタンを押してモードを切り換えます。

- ➔ 外部メディアの読み込みが成功するとフォルダやファイルが表示されます

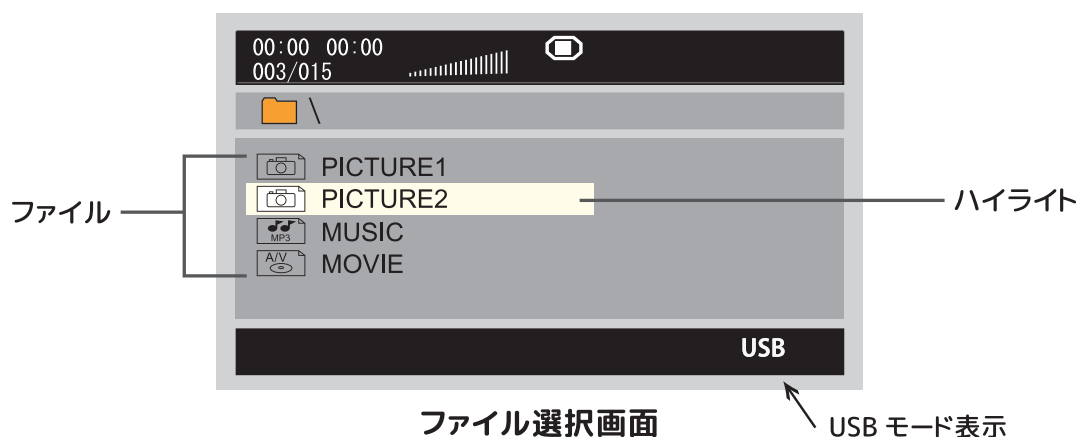
（注）上記手順でメディアを認識できない場合、メディア側の仕様・相性・互換性・その他の問題が考えられます。他のメーカーのメモリーなどでお試ください。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※データの読込中や再生中は外部メモリーの抜き差しを行わないでください。
- ※本機でご利用可能な外部メモリーの容量は 16 GB までのメモリーに対応しております。
但し、メーカー・仕様・互換性・相性の不一致などにより読込めない場合があります。
- ※本機でご利用可能な外部メモリーのファイルシステム形式（フォーマット）は「FAT32」です。
その他の形式（exFAT など）でフォーマットされた外部メモリーはご利用いただけません。
- ※ご視聴可能なデータの保存ファイル形式は MP3・MPEG1/2・AVI・JPEG です。
但し、保存サイズやコーデック不一致などの要因により同形式でも読込めない場合や正しく再生されない（映像しか映らない／音飛びする... など）場合があります。
- ※外部メモリーに保存（記録）された順序で再生されない場合があります。
- ※動画や画像の再生画像比率は 16:9 で表示されます。
- ※外部メモリーについての作動保証およびサポートは当社では一切行っておりません。
お客様ご自身の責任において当機能をご利用ください。

◎フォルダ/ファイル（データ）の表示・再生

- 読み可能なデータが保存された外部メモリを認識すると、ファイル選択画面に切り換わり、ファイル（フォルダ）一覧が画面に表示されます。（下図参照）
「▲/▼」ボタンで項目（ハイライト）を移動させ、「決定（OK）」または「再生 / 一時停止」ボタンを押して選択項目を実行します。



（ヒント）フォルダやファイルの保存場所（階層など）は、外部メモリにデータを保存（記録）したパソコン等、お客様の保存方法に準じて記録されています。
フォルダの有無や階層の変更は本機ではできませんのでパソコン等をご利用ください。

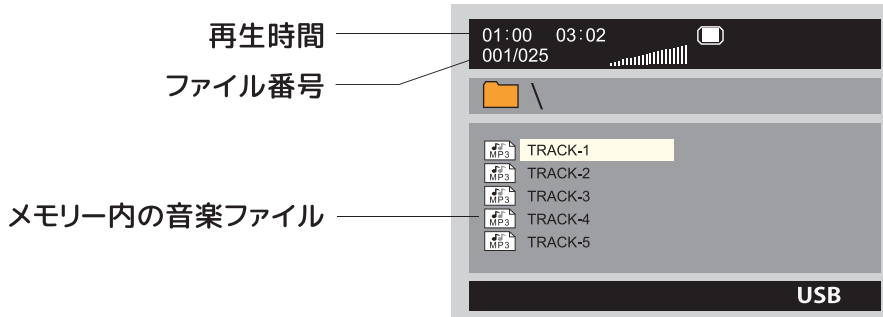
（注）本機でファイル（データ）の順序を「撮影日時」「同期」「コピー」順などにソートすることはできません。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※データの読み込み中や再生中は外部メモリの抜き差しを行わないでください。
- ※本機でご利用可能な外部メモリの容量は 16 GB までのメモリに対応しております。
但し、メーカー・仕様・互換性・相性の不一致などにより読み込めない場合があります。
- ※本機でご利用可能な外部メモリのファイルシステム形式（フォーマット）は「FAT32」です。
その他の形式（exFAT など）でフォーマットされた外部メモリはご利用いただけません。
- ※ご視聴可能なデータの保存ファイル形式は MP3・MPEG1/2・AVI・JPEG です。
但し、保存サイズやコーデック不一致などの要因により同形式でも読み込めない場合があります。
- ※外部メモリについての作動保証およびサポートは当社では一切行っておりません。
お客様ご自身の責任において当機能をご利用ください。

◎本機で再生が可能な音楽データの形式は「MP3」形式です。

- 読込可能な音楽データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



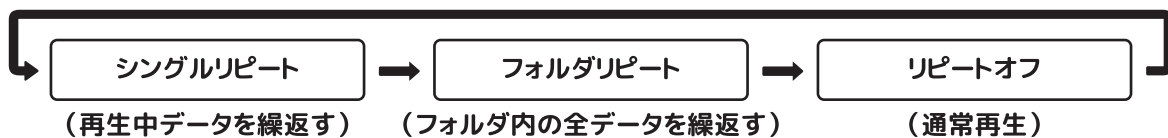
- (注) ファイル名やその他表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。
- (注) Wave サウンドファイルは認識しません。
その他データが再生できない場合は本書 P.30 をご参照ください。

◎操作方法

- 「▲/▼」ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。
- 「決定 (OK)」ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。
- 再生中に「▲/▼」を押して別のデータを選択することもできます。
その時の再生中データのハイライトは白色で表示されます。

*音楽データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」ボタンを押します。
- ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」ボタンを押します。
- ・ リpeat再生 「リpeat」ボタンを押します。
(ボタンを押すごとにリpeat方式が下記のように切り換わります)

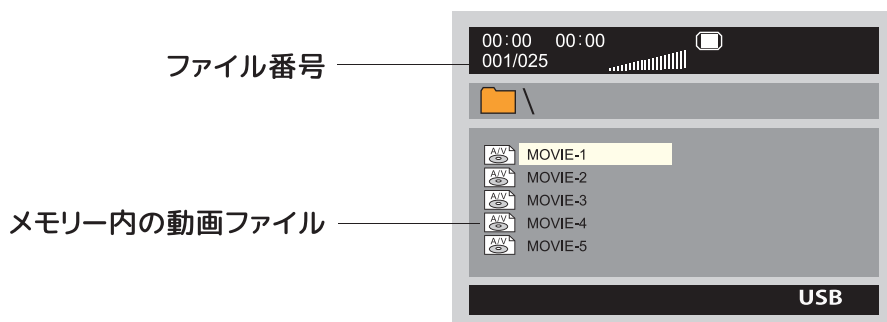


⚠️ ご注意 (ご確認) ください

- ※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。
再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。
- ※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機で再生が可能な動画データの形式は「AVI」「MPEG1」「MPEG2」形式です。

- 読込可能な動画データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



(注) ファイル名やその他表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。

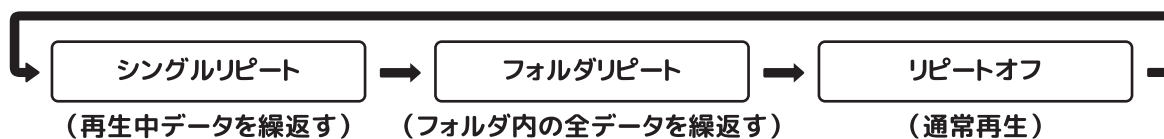
(注) MPEG4・AAC データは再生できません。
その他データが再生できない場合は本書 P.30 をご参照ください。

◎操作方法

- 「▲/▼」ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。
- 「決定 (OK)」ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。

*動画データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」ボタンを押します。
 - ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」ボタンを押します。
 - ・ リピート再生 「リピート」ボタンを押します。
- (ボタンを押すごとにリピート方式が下記のように切り換わります)



※データの作成 / 保存方法によっては「スキップ (前へ / 次へ)」ボタンでデータのスキップ移動ができる場合もあります。

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

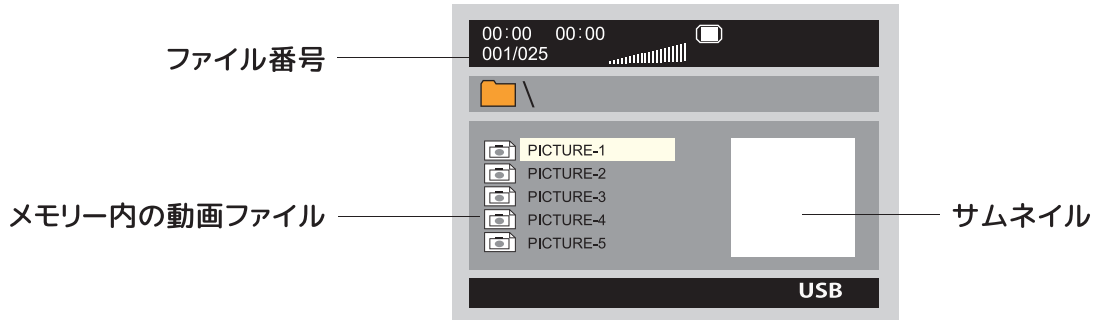
※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。

再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機で再生が可能な画像データの形式は「JPEG」形式です。

- 読込可能な画像データが保存された外部メモリーを認識すると、下図画面が表示されます。画面上に表示されたデータを選択し、再生するデータを決定します。



(注) ファイル名やその他表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しております。
 ※日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）は正しく表示されない場合があります。

(注) 画像データが再生できない場合は本書 P.30 をご参照ください。

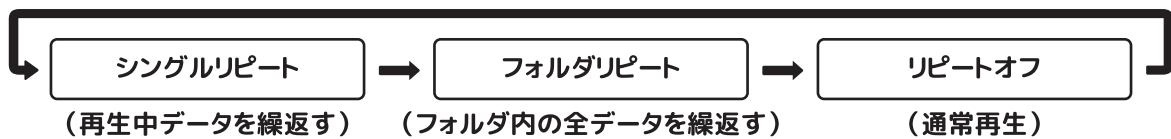
◎操作方法

- 「▲/▼」ボタンでハイライト項目を移動させ、再生したいデータを選択します。
 (表示部右側にサムネイル画像が小窓表示されます)
- 「決定 (OK)」ボタンを押すと選択したデータの再生が始まります。

*動画データ再生中は次の操作が可能です。

- ・ 停止 「停止」ボタンを押します。
- ・ 一時停止 「再生 / 一時停止」ボタンを押します。
- ・ リピート再生 「リピート」ボタンを押します。

(ボタンを押すごとにリピート方式が下記のように切り換わります)



- ・ 画像の回転 スライド再生中に「▶」ボタンを押すと右に 90°回転
 スライド再生中に「◀」ボタンを押すと左に 90°回転
- ・ 画像の反転 スライド再生中に「▲」ボタンを押すと上下反転
 スライド再生中に「▼」ボタンを押すと左右反転

※スライド再生中に「メニュー」ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。

⚠ ご注意 (ご確認) ください

※当機搭載のメモリープレーヤーソフトは無償サービス付加ソフトです。

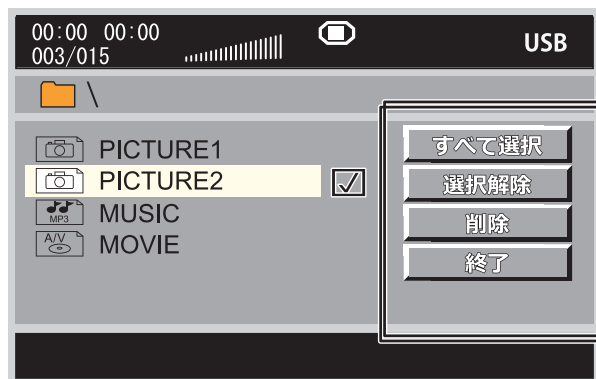
再生可能と記載されたデータ形式でも「データ作成方法」「保存サイズ」「保存方法」その他の要因により認識されない場合や再生できない場合などありますので予めご了承ください。

※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎本機に接続した外部メモリの保存データを管理する

- ファイル選択画面表示中に「字幕（録音）」ボタンを押すと、データ管理タグが表示されます。

- <すべて選択>データを全て選択
- <選択解除>選択を全て解除
- <削除>選択したデータを削除
- <終了>管理タグの終了



■データを外部メモリーから削除する

- ① USB モードに切り換えます。
 - ② 「字幕（録音）」を押して管理タグを表示します。
 - ③ 「▲」「▼」で削除したいデータにハイライトを移動して「決定」を押します。
 - ④ 選択したデータ名の横に 印が入っていることを確認します。
 - ⑤ 印確認後、<削除>タグを選択して「決定」を押すとデータが削除されます。
- ※ <すべて選択>タグを選択すると全てのデータ名の横に 印が入ります

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※一度削除したデータを復元することはできません。ご注意ください。
- ※外部メモリーについての作動保証およびサポートは一切行っておりませんので予めご了承ください。

◎音楽 CD から外部メモリー（USBメモリーなど）に録音する

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※録音に仕様する外部メモリーにデータが保存されている場合、録音操作を行う前に必ず他のメモリー等にバックアップ保存してください。保存されていたデータが消失する場合があります。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※本機では一般的な市販の音楽 CD および MP3 形式で記録された CD-R/RW などから外部メモリー（USBメモリーなど）への録音が可能です。

※録音されたデータは「MP3」形式で記録されます。

※録音中の本機操作（音量調整や音質変更など）は録音データには反映されません。

※録音に仕様する外部メモリーに空き容量がない場合「Device full」と表示され記録できません。

※容量の大きいメモリーを接続した場合、読み込みに時間がかかることがあります。

※本機ではフォルダ名やファイル名の入力（編集）はできません。

- ① USB 端子またはスロットに外部メモリーを正しく接続します。
- ② 録音したい元のCDを再生します。
- ③ CD再生中に「字幕（録音）」を押して録音操作画面（下図）を表示します。

録音操作画面

CD録音			
オプション		トラック	
(1) —	速度 標準	✓ track01 04:26	トラックリスト
(2) —	ビットレート 128kbps	track02 03:41	
(3) —	ID3情報 する	✓ track03 04:45	
(4) —	メディア USB	track04 04:30	
録音情報		track05 04:20	
(5) —	トラック 0	✓ track06 04:51	
(6) —	タイム 00:00	track07 03:28	
		▼	
開始 戻る		すべて選択 すべて取消	

- ④ 「▲/▼/◀/▶」ボタンで各項目に移動し「決定」で決定します。
- ⑤ 各設定を確認後、<開始>タグを選択します。「決定」を押すと録音が始まります。

- (1) 録音スピード：「決定」を押すごとに速度の設定が切り換わります（標準 ↔ 高速）
 - ※標準速度の場合、ファイルの録音と同時にディスク再生が始まります
 - 倍速（高速）の場合、録音しながら同時にディスク再生はできません
- (2) ビットレート（圧縮比率）：「決定」を押すごとに圧縮率設定が切り換わります
 - 96kbps → 112kbps → 128kbps → 192kbps → 256kbps → 320kbps
 - ※この数値が高いほど音質はよくなりますが変換後の保存サイズも大きくなります
- (3) ID3 TAG 式ファイルの作成を選択します（する ↔ しない）
- (4) 録音先メディアの検出状態を表示します
- (5) 選択したデータ（トラック）の総数 (6) 選択したデータの総再生時間

メディア / データファイルについて

◎外部メディア（USB メモリーなど）について

- 本機ではファイルシステム形式が「FAT32」形式でフォーマットされた外部メモリーの読み込みが可能です。他の形式（FAT16 や exFAT など）でフォーマットされたものは認識されません。
- 本機では最大容量 16GB までの外部メモリーを推奨しております。最大容量 32GB を超える外部メモリーの場合「認識しない」「誤作動を起す」等の事象が起きる場合があります。
- 上記条件等を満たしたメディアでも、メーカーや型式や仕様や互換性やその他要因により本機では認識できない場合や動作しない場合があります。この場合、他メーカーのメディアでお試しください。
- 外部メモリーの作動保証やサポートは一切おこなっておりません。予めご了承ください。

◎データ（音楽 / 動画 / 画像）再生について

- デジタル著作権管理（DRM）されたデータファイルの再生はできません。
※DRM とはデジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御する技術の総称です。（音声&映像ファイルの複製制限や画像の電子透かし技術など）
- 音楽再生では「MP3（DRM は非対応）」形式で保存されたデータの再生が可能です。
ただしデータファイルをパソコン等からメディアに転送する際に、専用ソフトを利用して独自の暗号化（著作権保護等）を施されたファイルを入れたメディアの場合、本機では再生できません。
例）アップル社製「iPod」シリーズ・ソニー社製「Walkman」シリーズ
パナソニック社製「D-snap audio」シリーズ・JVC 社製「アルネオ」シリーズ など
- 動画再生では「AVI」「MPEG2」形式で保存されたデータの再生が可能です。
ただしデータ作成 / 保存時のコーデックやビットレートの不一致や当機搭載ソフトとの互換性や相性の相違などにより、認識されない場合や正しく再生できない場合があります。
また MPEG4 や WMV 形式のファイルは再生できません。
- 画像再生では「JPEG」形式で保存されたデータのみ再生が可能です。
ビットマップ形式や TIFF 形式のファイルは再生できません。
- 動画および画像の推奨最大サイズ（解像度）は 720*480 までのデータです。
推奨サイズ以上で作成・保存されたデータの場合、当機ソフトでは認識されない場合や正しく再生できない場合があります。
- メディア・データのサイズや構造により、画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 当機搭載ソフトのデータ名・ファイル名・フォルダ名等の表示文字は「英字 / 数字 / 記号」にのみ対応しています。メディアに保存されたデータやフォルダ名の文字が日本語文字（ひらがな・カタカナ・漢字）で記録されている場合、正しく表示されない場合があります。

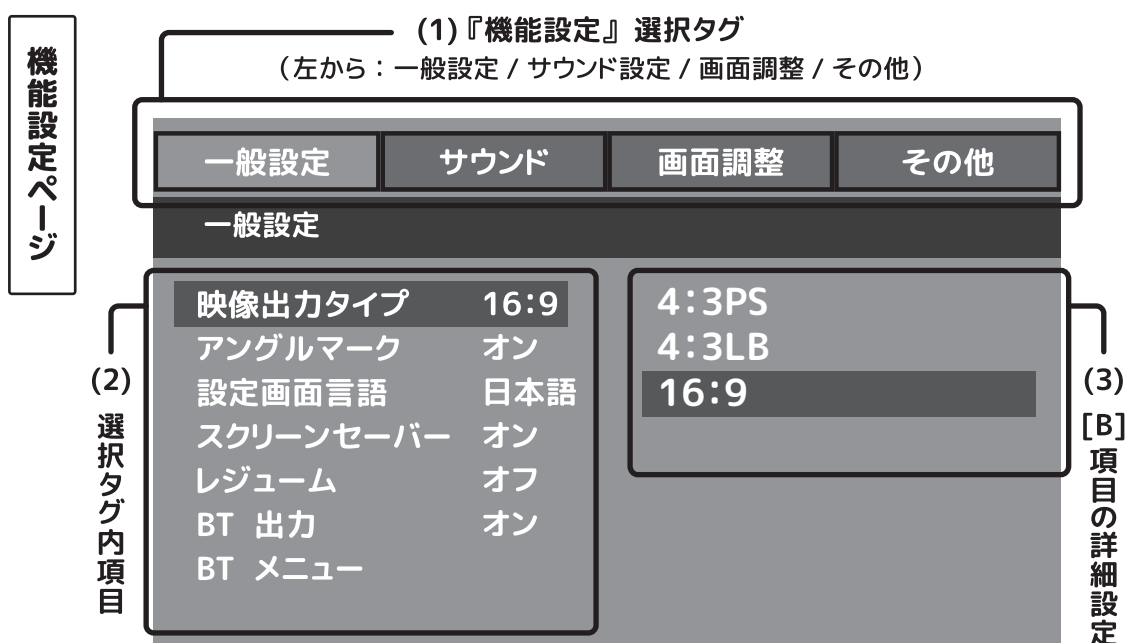
◎機器の機能や画質 / 音質の調整など、お好みに合わせて設定します

- 機器の設定や調整は「機能設定ページ」から行います。

(ヒント) [サウンド設定] 及び [その他] の項目の設定変更は DVD モードでのみ可能です。
変更した設定は全モード (DVD/AV/ 外部メモリー) に反映されます。
機器の設定の調整や変更は DVD モードから一括で行うことをお勧めします。

◎設定確認 (変更) の手順

- ① 主電源をオン (入) にします。
- ② 各モードのシステム起動後に「設定」ボタンを押すと画面に<機能設定ページ (下図)>が表示されます。



- ③ 「▲/▼/◀/▶」「決定」の各ボタンを利用して (1) (2) (3) の順に設定詳細の確認や変更を行います。
- ④ 各種設定を終えたら「設定」ボタンを押して設定を終了します。

※機能設定ページ内の各項目詳細につきましては本書 P.32 ~をご参照ください

■ 設定項目は以下の通りです

機能設定タグ	設定タグ項目
一般設定	映像出力タイプ アングルマーク 設定画面言語 スクリーンセーバー レジューム BT 出力 BT メニュー
サウンド設定	デュアルモノラル ダイナミックレンジ

機能設定タグ	設定タグ項目
画面調整	鮮明度 明るさ コントラスト 色調 彩度
その他	PBC 音声設定 字幕設定 メニュー言語 視聴制限 パスワード 設定初期化

【一般設定】(初期値は※印)

■ 映像出力タイプ

(1) 4:3/PS (2) 4:3/LB (3) 16:9 ※

■ アングルマーク

(1) オン ※ (2) オフ

■ スクリーンセーバー

(1) オン ※ (2) オフ

■ Bluetooth 出力

(1) オン ※ (2) オフ

■ 設定画面言語

(1) 英語 (2) 日本語 ※

■ ラストメモリ (レジューム)

(1) オン (2) オフ ※

■ Bluetooth メニュー

(BT 接続設定 : P.16 参照)

【サウンド設定】(初期値は※印)

■ デュアルモノラル

(1) ステレオ ※ (2) モノラル左 (3) モノラル右 (4) ミックスモノラル

■ ダイナミックレンジ

(1) FULL ※ ~ 3/4 ~ 1/2 ~ 1/4 ~ OFF

【画面調整】(初期値は※印)

- 鮮明度
(1) 高 (2) 中※ (3) 低
- 明るさ ※ 00
(1) -16 ~ +16
- コントラスト ※ 00
(1) -16 ~ +16
- 彩度 ※ 00
(1) -9 ~ +9
- 色調 ※ 00
(1) -9 ~ +9

【その他】(初期値は※印)

- PBC (プレイバックコントロール)
* 再生プログラムが入ったビデオ CD や DVD ソフトで利用します
(1) オン※ (2) オフ
- 音声設定 (ディスク再生時の音声言語の設定)
(1) フランス語 (2) スペイン語 (3) 中国語 (4) 日本語※
(5) 韓国語 (6) ポルトガル語 (7) ロシア語 (8) タイ語
(9) 英語
- 字幕設定 (ディスク再生時の字幕言語の設定)
(1) 英語 (2) フランス語 (3) スペイン語 (4) 中国語
(5) 日本語※ (6) 韓国語 (7) ポルトガル語 (8) ロシア語
(9) タイ語 (10) オフ
- メニュー言語 (ディスクメニューの表示言語の設定)
(1) 英語 (2) フランス語 (3) スペイン語 (4) 中国語
(5) 日本語※ (6) 韓国語 (7) ポルトガル語 (8) ロシア語
(9) タイ語
- 視聴制限
(1) KID SAFE (2) G (3) PG-G (4) PG-13
(5) PG-R (6) R (7) NC-17 (8) 無制限※
- パスワード
(* 変更 → パスワード変更設定画面へ ※初期パスワード: "1111")
- 設定初期化
(* 実行 → 決定すると視聴制限以外の設定が初期化 (リセット))

◎故障かな?と思ったら、お問合せの前に下記および本書を再度ご確認ください。

機器全般

<ul style="list-style-type: none"> ・電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属品リモコンでは本体主電源のオン・オフは操作できません。 →主電源スイッチの確認 (P.10 / P.14) ・電源 (コンセント)・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。(P.14) ・内蔵充電電池の充電状態をご確認ください。(P.17)
<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンが効かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.13) ・リモコンの電池を交換してください。(P.13) <p>(注) リモコンと本体の間に障害物があると操作が効きません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・液晶画面が真っ暗 ・音だけ聞こえる ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶画面がオフ設定になっていないかご確認ください。(P.12)
<ul style="list-style-type: none"> ・画面に斑点や線 ・音声の乱れ ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高圧線」「ネオン」「他の電子機器」などから電波 (磁気) 干渉が起きている可能性があります。本機を電波 (磁気) の影響が低い場所に移動してご利用ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・作動中に電源が落ちた ・操作に全く反応しない ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源 (コンセントやシガーソケット) からアダプターを外して本機の主電源をオフ (切) にした状態で、しばらく放置してみてください。(約 3 時間程度) 内部基盤等に溜った静電気を完全に放電することで機能が回復する場合があります。

ディスク/メディア

<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクを読込まない ・「不明なディスク」と表示される ・再生中に急に止まる ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・お買い上げ時にディスクトレイ内部に付いている「レンズ保護カバー」は取り除いてください。(P.8) ・ディスクに汚れやキズがないかご確認ください。 ・ディスクが正しくセットされているかご確認ください (P.18) ・モード (DVD/AV) をご確認ください。 ・ディスクの仕様が本機に対応していますか? (再生可能なディスク: P.7)
<ul style="list-style-type: none"> ・再生中に電源が落ちた 	<ul style="list-style-type: none"> ・2層式記録ディスクでは再生折り返し箇所の仕様である場合があります。この場合、電源が落ちた箇所の次のチャプターから再生できることがあります。

◎故障かな?と思ったら、お問合せの前に下記および本書を再度ご確認ください。

ディスク/メディア

<ul style="list-style-type: none"> ・他の録画機器で録画したディスクが再生できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオモード又は CPRM 形式で録画した DVD-R/RW ディスクはファイナライズ処理を行ってください。(P.7 / P.21) ・パソコン等で作成したディスクや収録時間が極端に短いデータは再生できない場合があります。 ・データの作成方法や保存方法、ディスクの仕様や互換性の不一致等により再生できない場合があります。
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽 CD が正しく再生されない ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーコントロール CD の可能性があります。この場合、仕様上データ通りに再生できない場合があります。(P.37)
<ul style="list-style-type: none"> ・外部メディア (メモリー) が利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部メモリー (USB) が本機の各端子に正確に取り付けられているかご確認ください。(P.23) ・外部メモリーのファイルシステム (フォーマット) 形式をご確認ください。(P.30)

Bluetooth

<ul style="list-style-type: none"> ・接続できない ・接続が安定しない ・音が遅れる ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアリングが可能な接続範囲は約 10m です。但し本機と外部機器との間に障害物がある場合や周囲に他の電子機器がある場合、正しく接続できない場合があります。 ・本機の Bluetooth はバージョン 5.1 に準拠した規格です。外部機器側の受信環境 / BT バージョン等をご確認ください。 ・本機の BT 機能は音声データ送信専用です。接続できる外部機器は BT 音声受信用機器 (スピーカーなど) です。「スマートフォンからデータを受信する」等はできません。 ・DVD ソフト再生時に映像と出力音声がずれる (音が遅れる) 等の現象が生じる場合があります。これは無線送信により生じる事象に付き故障ではありません。
---	--

充電電池

<ul style="list-style-type: none"> ・使用時間が短くなった ・底面が膨らんできた ・異常に熱を持つ ... など 	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵されている充電電池の寿命により「底面が膨らむ (歪む)」ことがあります。電源 (コンセントやシガーソケット) からアダプターを外して本機の主電源をオフ (切) にして本機の利用を中止してください。充電電池の交換はカスタマーサービスまでご依頼ください。 ※充電電池の交換は有償対応サービスです (P.17)
--	--

製品仕様

本体サイズ	264 × 192 × 45 mm ※折りたたみ時
重量	約)900 g ※バッテリー含む
電源	〈本体〉DC12V 2.0A 〈ACアダプター〉AC100~240V 50/60Hz
消費電力	約)18 W
液晶	10.1型TFT / LEDバックライト / 1024*600(RGB)
スピーカー	2W × 2
推奨動作環境	周辺温度:0~40℃ ※結露なきこと
入出力端子	AV出力端子・AV入力端子・USB(A)ポート イヤホン出力端子・電源入力端子
内蔵充電電池 (時間の目安)	Li-po 7.4V 2000mAh 14.8Wh (充電約4時間/駆動約2時間程度) ※使用方法や環境等により変化します
対応フォーマット (ディスク再生)	オーディオCD・CD-R/RW・DVDビデオ DVD-R/RW(CPRM/VRE-T [®] 対応)
対応ファイル形式 (メディア再生)	〈動画〉MPEG (MPEG1,2) , AVI(MPEG2) ※SIZE:720*480 〈音楽〉MP3 〈画像〉JPEG
BLUETOOTH送信	Bluetooth ver,5.1 VDR/EDR 対応プロファイル:A2DP, AVRCP 出力:Class2 周波数帯域:2.402GHz~2.480GHz 最大送信距離:約10 m ※接続機器との間に障害物等がないこと

【付属品】 ・リモコン・AC アダプター・車載用 DC シガーアダプター
・AV ケーブル・イヤホン・車載用バッグ・取扱説明書・製品保証書

※仕様は製品の改善や品質向上の為、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

 **Bluetooth** QDID : 153356
Dec-ID : D051140

その他（各種注釈や免責など）

液晶パネルについて

- 液晶パネルは高精度の技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素がありますが、故障ではありませんので予めご了承ください。

ブロックノイズについて

- 機器の演算処理能力を超えたデータの再生や重複操作によりブロックノイズが発生する場合があります。ブロックノイズは映像の記録方式（MPEG）の性質上、完全に除去することはほぼ不可能です。またディスクの記録面の汚れやキズ、機器側のディスク読み取りレンズ部分の汚れやキズもブロックノイズ発生の原因となります。ディスクやレンズの汚れは市販のクリーナーなどを利用して取り除いてください。

コピーコントロール CD について

- CCCD（コピーガード付き CD）は CD の標準規格に合致していないため、本機では再生できない場合があります。CCCD の再生について支障がある場合、ディスク作成者（発売元）等にお問合せください。また標準規格外のディスクの使用を起因として機器の不具合や故障が発生した場合、無償保証の対象外となりますので予めご了承ください。

お手入れについて

- ディスク読み取りレンズのクリーニング
レンズ部が汚れるとディスクを正しく読み取れずに「音飛び」「画像の乱れやノイズ発生」など様々な症状が起こる場合があります。市販のレンズクリーナーを利用して汚れを取り除いてください。
- 結露
結露が発生した場合、ディスクや読み取りレンズ部分に水滴がつき、ディスクを正しく読み取れずに様々な症状が起こる場合があります。また機器内部の基盤や配線や充電電池などに水滴がつくと電流がショートして不具合や故障の原因となる場合があります。
結露が発生した場合、機器やディスクについた水滴は柔らかい布などで拭き取ってください。また機器内部の乾燥のため、湿度の低い場所へ機器を移動させ暫く放置してください。
- 機器のお手入れ
簡易な汚れは柔らかい布などで乾拭きしてください。汚れがひどい場合、柔らかい布などに「中性洗剤を水で5～6倍に薄めた液体」を浸してよく絞ってから拭き取りってください。
その後必ず乾いた布で乾拭きしてください。
（注）アルコール・シンナー・強い酸性（アルカリ性）の洗剤は使わないこと
ケースや塗装の変形・変色・色落ちなどの原因となります
（注）お手入れ時は電源アダプターを外し主電源をオフ（切）にすること

その他（各種注釈や免責など）

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
（注）自治体により「燃えないゴミ」「資源ゴミ」「粗大ゴミ」「小型電気製品回収」など
取り扱い方法が異なりますのでご注意ください

免責について

- お客様（又は第三者）が本製品の使用によって生じた損害等について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
（誤使用により生じた故障・使用中の故障・その他の不具合事象等含む）
- 当社が関与しない機器（他メーカー機器やデータやソフト等）などとの組み合わせによる誤作動や故障やその他不具合などによって生じた損害等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
- 取扱説明書（本書）の記載事項を守らないことにより生じた損害や事故等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証書（別添）

- 本品付属品として製品保証書が同梱されています。お買い上げ販売店にて「お買い上げ日」「販売店情報」を正確にご記入いただき、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

「充電電池の交換」や「修理」をご依頼される場合

- 本書をお手元にご用意の上、当社お客様サポートセンターまで「電話」「FAX」「E-MAIL」「当社ホームページ問合せフォーム」にてお問合せください。お問合せ内容を確認の上、その内容に適したサポートをご案内させていただきます。

お客様サポートセンター

 **03-5670-0328**

（電話受付時間：【平日】 10:00～12:30 / 13:30～17:00）

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART.（アカート） サポートセンター
FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証規定

- 保証書（別添）に記載された「保証期間」において製品（本体）の故障や不具合が発生した場合、当社保証規定に準じて無料で修理等を行うことをお約束いたします。保証期間内に修理等をご依頼いただく場合、無料保証の対象であるかをご確認の上、「お客様サポートセンター（P.38）」までお問合せください。
 - (1) 無料保証を受ける場合、「必要な情報が正しく記入された保証書（別添）」または「保証書に準ずる書類（購入店舗や日時を証する書類など）」をお手元にご用意の上、当社サポートセンターまでお問合せください。
(注) 当社サポートセンターにおいて「店舗名やご購入日時が確認できない」場合、無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
 - (2) 無料保証の対象は製品本体のみです。付属品（消耗品）は保証対象外です。
 - (3) 下記のような場合、保証期間内であっても原則として有料対応となります。
 - 保証書（又は準ずる書類）のご提示が無い場合
 - 保証書に必要な情報が記入されていない場合
あるいは字句が書き換えられている場合
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷
 - ほこり、昆虫類等の侵入、火災、天変地異（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧などで生じた故障、損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用途など）で使用された場合の故障、損傷
 - 本製品以外を起因とする不具合や故障、損傷
 - ご使用に伴う摩耗や色あせなどの外観上の変形や不具合
 - 消耗品および付属品類の交換（修理）費用
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への輸送費用
 - (4) 当規定による保証は日本国内においてのみ有効です。（Warranty void only Japan）
- 修理等の対応サービスについて
 - ※ 出張による修理や設置などのサービスは一切行っておりませんので予めご了承ください。
 - ※ 故障や不具合に対する対応サービスが「新品（代替品含む）との交換」となった場合、次回以降の対応につきましてはすべて有料での対応とさせていただきます。
 - ※ 当社と未取引の販売店（代理店を含む）でお買い上げいただいた場合、お買い上げ店での対応となる場合があります。
 - ※ 個人間での売買（オークション等含む）や譲渡されたものは無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
 - ※ 修理対応を行う場合、機器内部のパーツ部品交換などの為、仕様等が若干変わる場合がありますので予めご了承ください。

型番：OT-BD101AK

長期間ご使用されていなかった場合、再度ご利用いただく際に点検をお願いいたします。



愛情点検

ご使用いただく前に ...

- 本体ケース（プラスチック部）に歪みや変形や割れなどはありませんか？
- ケーブル類に破損や断線や錆などはありませんか？
- その他の異常や故障が見つかった？

ご使用中やご使用後に ...

- 充電池に正しく充電が行われていますか？
- 充電池で駆動した場合の動作に異常はありませんか？
- 本体やアダプターが異常に熱くなる？ 異音や異臭がする？

(お願い) ● 上記のような場合、機器の故障や事故防止のため、

- ① アダプターをコンセントから外してください。 ② 本体の主電源をオフ（切）にしてください。
- ① / ②の後、お客様サポートセンターまでご連絡ください。(修理や点検に要する費用なども合せてご案内いたします)

お客様サポートセンター

☎ 03-5670-0328

(電話受付時間：【平日】 10:00 ~ 12:30 / 13:30 ~ 17:00)



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F

(株)アカートお客様サポートセンター

FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

(注) 休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。